

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県本島北部

国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、
名護市、恩納村、宜野座村、金武町

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の
達成状況等

1 令和5年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H28年産実績	70	153	737	960	6,595	5,099	5,258	5,329	4,592	7,817	38,752	51,161
H29年産実績	58	158	747	963	5,212	3,923	4,312	4,302	3,012	6,190	32,223	41,426
H30年産実績	42	155	707	904	5,844	3,554	4,038	4,039	2,450	5,502	28,554	36,506
R元年産実績	40	96	656	792	4,739	3,383	3,536	3,578	1,907	3,259	23,191	28,357
R2年産実績	54	144	586	784	5,624	3,526	4,127	4,120	3,052	5,073	24,166	32,291
R3年産実績	56	133	602	791	4,557	3,990	4,070	4,091	2,546	5,311	24,519	32,377
R4年度実績	44	106	606	756	5,560	3,410	3,682	3,753	2,445	3,601	22,315	28,361
R5年増産計画	163	258	728	1,149	6,687	3,953	4,684	4,804	10,900	10,200	34,100	55,200
R5年増産実績	35	112	569	716	4,916	3,112	3,306	3,355	1,739	3,492	18,798	24,030
(対計画比%)	(21.5)	(43.4)	(78.2)	(62.3)	(73.5)	(78.7)	(70.6)	(69.8)	(16.0)	(34.2)	(55.1)	(43.5)
(対前年比%)	(79.5)	(105.7)	(93.9)	(94.7)	(88.4)	(91.3)	(89.8)	(89.4)	(71.1)	(97.0)	(84.2)	(84.7)

2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産

・株出栽培の割合 80.2% → 79.5% ・さとうきび作農家戸数 950戸 → 907戸
 ・平均糖度 13.4度 → 14.3度

<p>増産目標に対する位置づけ</p>	<p>令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった</p> <table border="1" data-bbox="448 231 1120 343"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫面積</th> <th>単収</th> <th>生産量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(計画)</td> <td>1,149ha</td> <td>4,804kg/10a</td> <td>55,200t</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>716ha</td> <td>3,355kg/10a</td> <td>24,030t</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年産の当初の増産目標は、収穫面積1,149ha、単収4.8t/10a、生産量55,200tを計画していた。実績は収穫面積716.14ha(計画比62.3%)、単収3.4t/10a(同69.9%)、生産量24,030t(同43.5%)であった。 栽培期間を通して、降水量は3月6月8月は平年より多いものの、その他の月は平年並みか平年より少なく特に生育旺盛期の7月9月～11月は極端に少雨傾向であった。また、8月1～6日にかけて長期間暴風域に巻き込まれた台風6号により、茎の折損や葉片裂傷被害が大きく、単収の低下につながった。引き続き改植更新の推進や、除草やかん水の呼びかけ等による単収向上に向け取り組んでいく。</p>		収穫面積	単収	生産量	(計画)	1,149ha	4,804kg/10a	55,200t	(実績)	716ha	3,355kg/10a	24,030t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	1,149ha	4,804kg/10a	55,200t										
(実績)	716ha	3,355kg/10a	24,030t										
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸度が低く、保肥力・保水力の乏しい土壌が多い ・ さとうきび農家の高齢化や担い手不足により栽培管理が不十分な圃場がみられる ・ 収穫機以外の機械受委託体制が不十分である 												
<p>令和5年産における取組方針</p>	<p>主なさとうきび生産振興策として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培講習会、農業機械実演会による基本栽培技術の周知徹底 ・ さとうきびの新規就農者、規模拡大農家に対する農地斡旋や事業導入等の支援 ・ 優良種苗普及拡大支援、植付機械化、多回株出し圃場の改植更新、収量性の高い品種検討・導入を進める ・ 機械化体系の推進および農作業受託体制の強化並びに、農作業安全の推進に向けオペレーターの育成 												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																											
<p>① 効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビレットプランタ等による植付実演会、スマート農機実演会を開催 ・ 遊休農地解消事業と連携した新規就農者等の夏植え植え付け支援 ・ 土壌処理型除草剤等雑草対策に関する講習会の開催、展示圃設置 <p>【目標の達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="421 496 1408 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>農業法人</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受託機械導入、受託体制整備、受託オペレーターの育成 ・ 機械化体系に即した農地の集約・集団化 ・ 土壌処理型除草剤の効果について普及拡大 		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	20	21	21	23	23	27	9	9	農業法人	4	4	4	3	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実演会を継続開催し、地域における受託体制整備を支援する ・ 新規就農者等担い手育成支援を強化する。 ・ 展示圃実績等効果を講習会等とおして雑草予防対策の強化
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																					
認定農業者	20	21	21	23	23	27	9	9																					
農業法人	4	4	4	3	-	-	-	-																					

②農業共済制度への加入促進	【実施した取組】 <ul style="list-style-type: none"> 栽培圃場調査及び要件審査申請書作成時及び講習会開催時に農業共済制度の周知及び加入促進 生産組合総会等での共済事業の重要性等周知説明 								・各種集会等での共済事業の重要性・周知の徹底をはかる	
	【目標の達成状況】									
		H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)		R5 (R6年産)
	加入戸数 (戸)	599	555	444	373	592	369	321		492
	戸数引受率 (%)	47.0	47.6	43.0	39.3	33.8	36.1	33.8		36.6
	引受面積 (ha)	468	437	339	280	527	280.0	251.6		471.0
	面積引受率 (%)	48.9	48.7	43.1	36.0	34.3	35.6	32.0		33.1
共済金額 (千円)	279,816	293,459	251,491	216,976	214,691	198,738	-	-		
注) R4、R5年産の数値については概算値										
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 共済制度の意識啓発 生産資材の高騰、単収の低下等農家所得の減少 										

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
<p>①気象災害に強い生産基盤の整備</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑地かんがい施設やかん水機材導入など農業基盤整備 ・巡回指導や資料配付によるかん水意識の啓発 ・灌水機材貸し出し <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="421 520 1408 791"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 実績</th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R元 実績</th> <th>R2 実績</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 見込</th> <th>R5 見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場整備率</td> <td>51.9</td> <td>51.9</td> <td>51.9</td> <td>51.9</td> <td>52.0</td> <td>52.0</td> <td>59.3</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>水源整備率</td> <td>44.1</td> <td>44.1</td> <td>44.1</td> <td>44.1</td> <td>44.1</td> <td>44.1</td> <td>48.6</td> <td>43.2</td> </tr> <tr> <td>畑地かんがい整備率</td> <td>41.7</td> <td>41.9</td> <td>41.9</td> <td>42.1</td> <td>42.1</td> <td>42.5</td> <td>47.0</td> <td>40.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑地かんがい施設の未整備の地区がある ・労力やコスト面でかん水未実施の農家が多い ・心土破碎等排水性の改善 		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込	ほ場整備率	51.9	51.9	51.9	51.9	52.0	52.0	59.3	51.5	水源整備率	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	48.6	43.2	畑地かんがい整備率	41.7	41.9	41.9	42.1	42.1	42.5	47.0	40.3	<ul style="list-style-type: none"> ・植付時および梅雨明け生育旺盛期にかん水効果の周知 ・畑地かんがい施設やかん水機材導入等の農業基盤整備の促進 ・灌水機材貸し出し ・新植時の深耕、株出し時の心土破碎等の推進と受託体制の強化
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込																														
ほ場整備率	51.9	51.9	51.9	51.9	52.0	52.0	59.3	51.5																														
水源整備率	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	48.6	43.2																														
畑地かんがい整備率	41.7	41.9	41.9	42.1	42.1	42.5	47.0	40.3																														

<p>②機械化一貫体系の確立</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動操舵トラクタ、ビレットプランタ実演会、ドローンによる農薬散布実演会を実施 ・農業機械オペレーターの育成および技能向上研修の実施 ・事業導入による収穫機械機能向上(恩納村、名護市、本部町、宜野座村) <p>【目標の達成状況】 (単位:台、ha、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーベスタ 稼働台数</td> <td>44</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>46</td> <td>44</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>ハーベスタ 収穫面積</td> <td>790</td> <td>790</td> <td>774</td> <td>684</td> <td>674</td> <td>659</td> <td>677</td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>ハーベスタ 収穫率(面積)</td> <td>82.6</td> <td>82.0</td> <td>85.6</td> <td>85.6</td> <td>86.0</td> <td>83.3</td> <td>89.5</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械の未整備やオペレータ不足により収穫以外の機械化が進んでいない ・収穫以外での作業受託を請け負う組織が少ない ・ハーベスタの老朽化 		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	44	40	40	38	41	46	44	49	ハーベスタ 収穫面積	790	790	774	684	674	659	677	659	ハーベスタ 収穫率(面積)	82.6	82.0	85.6	85.6	86.0	83.3	89.5	92.0	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化体系の推進および農作業受託体制の強化に向けオペレーターの育成 ・植付作業の機械化推進、自動操舵農機実演会等機械化一貫体系の推進 ・市町村、関係機関で情報共有を図り、機械導入や機能向上等事業導入支援
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
ハーベスタ 稼働台数	44	40	40	38	41	46	44	49																														
ハーベスタ 収穫面積	790	790	774	684	674	659	677	659																														
ハーベスタ 収穫率(面積)	82.6	82.0	85.6	85.6	86.0	83.3	89.5	92.0																														
<p>③地力の増進</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌分析の実施 ・緑肥推進 ・バカス堆肥購入支援 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国頭マージ土壌では保肥力が低い ・堆肥の活用が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌分析と分析結果に基づく土づくり支援 ・新植で堆肥等有機物投入、植付前の緑肥栽培を推進する 																																				

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																																																	
① 病害虫対策	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイチュウ、ガイダー、野鼠等共同防除の実施 ・農業研究センター等関係機関と連携し現地で病害虫被害状況確認、対策支援 ・シロスジオサゾウムシ、メイチュウ、ガイダーの発生状況調査を実施し対策を農家へ周知 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理が不十分で、病害虫発生源になる雑草繁茂、草勢低下の圃場が散見される ・シロスジオサゾウムシによる枯死茎、立ち枯れが一部の地域で見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・適期肥培管理の励行、指導 ・共同防除の推進 ・関係機関と連携した病害虫防除対策支援 																																																																																	
② 優良品種の選択・普及	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨励品種導入推進によりNi28、Ni29、Ni27が増加 ・県さとうきび優良種苗安定確保事業において各市町村の苗圃設置支援 <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="421 815 1406 1190"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 (実績)</th> <th>H29 (実績)</th> <th>H30 (実績)</th> <th>R元 (実績)</th> <th>R2 (実績)</th> <th>R3 (実績)</th> <th>R4 (実績)</th> <th>R5 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林8号</td> <td>33.3</td> <td>30.2</td> <td>26.5</td> <td>25.3</td> <td>22.2</td> <td>22.1</td> <td>20.0</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>農林15号</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>農林17号</td> <td>6.7</td> <td>5.8</td> <td>4.9</td> <td>4.5</td> <td>3.2</td> <td>3.0</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>農林22号</td> <td>13.3</td> <td>11.0</td> <td>8.1</td> <td>6.8</td> <td>5.6</td> <td>4.4</td> <td>3.8</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>農林27号</td> <td>4.9</td> <td>7.0</td> <td>10.1</td> <td>10.7</td> <td>12.0</td> <td>11.8</td> <td>0.1</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>農林28号</td> <td>10.7</td> <td>14.0</td> <td>17.0</td> <td>18.6</td> <td>18.6</td> <td>16.8</td> <td>0.2</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>農林29号</td> <td>7.1</td> <td>8.9</td> <td>11.7</td> <td>12.6</td> <td>16.2</td> <td>19.3</td> <td>0.2</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>RK97-14</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>0.9</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地区に比べNiF8が多い ・他地区に比べ単収が低い 		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林8号	33.3	30.2	26.5	25.3	22.2	22.1	20.0	18.7	農林15号	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	農林17号	6.7	5.8	4.9	4.5	3.2	3.0	2.5	1.8	農林22号	13.3	11.0	8.1	6.8	5.6	4.4	3.8	3.1	農林27号	4.9	7.0	10.1	10.7	12.0	11.8	0.1	12.7	農林28号	10.7	14.0	17.0	18.6	18.6	16.8	0.2	20.4	農林29号	7.1	8.9	11.7	12.6	16.2	19.3	0.2	23.7	RK97-14	-	0.9	1.2	1.3	1.7	0.9	0.0	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗圃設置支援、植付機械化、夏植推進により、株出更新、収量性の高い品種導入を進める ・市町村での種苗圃設置 ・品種比較の展示圃設置
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																																											
農林8号	33.3	30.2	26.5	25.3	22.2	22.1	20.0	18.7																																																																											
農林15号	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2																																																																											
農林17号	6.7	5.8	4.9	4.5	3.2	3.0	2.5	1.8																																																																											
農林22号	13.3	11.0	8.1	6.8	5.6	4.4	3.8	3.1																																																																											
農林27号	4.9	7.0	10.1	10.7	12.0	11.8	0.1	12.7																																																																											
農林28号	10.7	14.0	17.0	18.6	18.6	16.8	0.2	20.4																																																																											
農林29号	7.1	8.9	11.7	12.6	16.2	19.3	0.2	23.7																																																																											
RK97-14	-	0.9	1.2	1.3	1.7	0.9	0.0	1.0																																																																											

<p>③栽培技術の普及等</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で講習会が開催できなかったが資料配布により適期管理を周知・除草ハンドブック活用 ・農薬、除草剤の実証圃設置 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥培管理の遅れや労力不足、機械化が進んでいない ・ツル性やカワリバトウダイ等難防除雑草の発生が増えている ・新植や株出後に補植が不十分な圃場が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会、巡回指導による基本栽培技術の周知徹底 ・肥培管理に係る機械化推進 ・難防除雑草の情報提供、蔓延防止
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------